

平成 30 年 5 月 24 日

各 位

会 社 名 株式会社 スプリックス
代 表 者 名 代表取締役社長 平 石 明
(コード番号：7030 東証)
問 合 せ 先 取締役管理部長 早川 明宏
(TEL. 03-5927-1695)

募集株式発行並びに株式売出しに関する取締役会決議のお知らせ

平成 30 年 5 月 24 日開催の当社取締役会において、当社普通株式の東京証券取引所への上場に伴う募集株式発行並びに株式売出しに関し、下記のとおり決議いたしましたので、お知らせ申し上げます。

なお、今回実施する売出人による当社株式の売出しにつきましては、当社株式の流動性の向上を図ることを主な目的としております。

記

1. 公募による募集株式発行の件

- | | |
|---|--|
| (1) 募 集 株 式 の 数 | 当社普通株式 412,500 株 |
| (2) 募集株式の払込金額 | 未定（平成 30 年 6 月 8 日の取締役会で決定する。） |
| (3) 払 込 期 日 | 平成 30 年 6 月 28 日（木曜日） |
| (4) 増加する資本金及び
資 本 準 備 金
に 関 する 事 項 | 増加する資本金の額は、平成 30 年 6 月 19 日に決定される予定の引受価額を基礎として、会社計算規則第 14 条第 1 項に基づき算出される資本金等増加限度額の 2 分の 1 の金額とし、計算の結果 1 円未満の端数が生じたときは、その端数を切り上げるものとする。また、増加する資本準備金の額は、資本金等増加限度額から増加する資本金の額を減じた額とする。 |
| (5) 募 集 方 法 | 発行価格での一般募集とし、野村証券株式会社を引受人として、全株式を引受価額で買取引受させる。引受価額は発行価格と同時に決定するものとし、引受価額が払込金額を下回る場合は、この募集株式発行を中止する。 |
| (6) 発 行 価 格 | 未定（募集株式の払込金額決定後、募集株式の払込金額以上の価格で仮条件を提示し、当該仮条件における需要状況等を勘案した上で、平成 30 年 6 月 19 日に決定する。） |
| (7) 申 込 期 間 | 平成 30 年 6 月 21 日（木曜日）から
平成 30 年 6 月 26 日（火曜日）まで |
| (8) 申 込 株 数 単 位 | 100 株 |
| (9) 株 式 受 渡 期 日 | 平成 30 年 6 月 29 日（金曜日） |
| (10) 前記各項を除くほか、この募集株式発行に関し取締役会の決定を要する事項は、今後の取締役会において決定する。 | |
| (11) 前記各項については、金融商品取引法による届出の効力発生が条件となる。 | |

ご注意：この文章は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行うに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出し届出目論見書（並びに訂正事項分）」をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

2. 引受人の買取引受による株式売出しの件

- (1) 売出株式の種類及び数 当社普通株式 5,119,700 株
- (2) 売出人及び売出株式数 埼玉県さいたま市大宮区
平石明 5,119,700 株
- (3) 売 出 方 法 売出価格での一般向け売出しとし、野村證券株式会社、大和証券株式会社、SMB C日興証券株式会社、みずほ証券株式会社、極東証券株式会社、株式会社SBI証券、エース証券株式会社及び岩井コスモ証券株式会社が引受人となり、全株式を引受価額で買取引受する。
- (4) 売 出 価 格 未定（上記1.における発行価格と同一となる。）
- (5) 申 込 期 間 上記1.における申込期間と同一である。
- (6) 申 込 株 数 単 位 上記1.における申込株数単位と同一である。
- (7) 株 式 受 渡 期 日 上記1.における株式受渡期日と同一である。
- (8) 前記各項については、金融商品取引法による届出の効力発生が条件となる。また、上記1.の募集株式発行が中止となる場合、本株式売出しも中止される。

3. オーバーアロットメントによる株式売出しの件

- (1) 売出株式の種類及び数 当社普通株式 829,800 株（上限）
- (2) 売出人及び売出株式数 東京都中央区日本橋一丁目9番1号
野村證券株式会社 829,800 株（上限）
- (3) 売 出 方 法 売出価格での一般向け売出しである。
- (4) 売 出 価 格 未定（上記1.における発行価格と同一となる。）
- (5) 申 込 期 間 上記1.における申込期間と同一である。
- (6) 申 込 株 数 単 位 上記1.における申込株数単位と同一である。
- (7) 株 式 受 渡 期 日 上記1.における株式受渡期日と同一である。
- (8) 前記各項については、金融商品取引法による届出の効力発生が条件となる。また、上記1.の募集株式発行が中止となる場合、本株式売出しも中止される。

4. 第三者割当増資による募集株式発行の件

- (1) 募 集 株 式 の 数 当社普通株式 829,800 株
- (2) 募集株式の払込金額 未定（上記1.における払込金額と同一とする。）
- (3) 申 込 期 日 平成30年7月27日（金曜日）
- (4) 払 込 期 日 平成30年7月30日（月曜日）
- (5) 増加する資本金及び資本準備金に関する事項 増加する資本金の額は、平成30年6月19日に決定される予定の割当価格を基礎として、会社計算規則第14条第1項に基づき算出される資本金等増加限度額の2分の1の金額とし、計算の結果1円未満の端数が生じたときは、その端数を切り上げるものとする。また、増加する資本準備金の額は、資本金等増加限度額から増加する資本金の額を減じた額とする。

ご注意：この文章は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行うに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出し届出目論見書（並びに訂正事項分）」をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

- (6) 割 当 方 法 割当価格で野村証券株式会社に割当て。なお、割当価格が募集株式の払込金額を下回る場合は、この募集株式発行を中止する。
- (7) 割 当 価 格 未定（上記1.における引受価額と同一とする。）
- (8) 申 込 株 数 単 位 100株
- (9) 前記申込期日までに申込みのない株式については、発行を打ち切るものとする。
- (10) 前記各項を除くほか、この募集株式発行に関し取締役会の決定を要する事項は、今後の取締役会において決定する。
- (11) 上記3.に記載のオーバーアロットメントによる株式売出しが中止となる場合、本第三者割当増資も中止する。

ご注意：この文章は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行うに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書（並びに訂正事項分）」をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

【ご参考】

1. 公募による募集株式発行及び株式売出しの概要

(1) 募集株式の数及び売出株式数

- ① 募集株式の数 普通株式 412,500株
- ② 売出株式数 普通株式 引受人の買取引受による売出し 5,119,700株
オーバーアロットメントによる売出し 829,800株
(※)

- (2) 需要の申告期間 平成30年6月12日(火曜日)から
平成30年6月18日(月曜日)まで

- (3) 価格決定日 平成30年6月19日(火曜日)
(発行価格及び売出価格は、募集株式の払込金額以上の価格で、仮条件における需要状況等を勘案した上で決定する。)

- (4) 募集・売出期間 平成30年6月21日(木曜日)から
平成30年6月26日(火曜日)まで

- (5) 払込期日 平成30年6月28日(木曜日)

- (6) 株式受渡期日 平成30年6月29日(金曜日)

- (※) 上記のオーバーアロットメントによる売出しは、公募による募集株式発行並びに引受人の買取引受による売出しに伴い、その需要状況を勘案し、野村証券株式会社が行う売出しであります。したがって上記のオーバーアロットメントによる売出しに係る売出株式数は上限株式数を示したものであり、需要状況により減少若しくは中止される場合があります。

オーバーアロットメントによる売出しの対象となる当社普通株式は、オーバーアロットメントによる売出しのために、野村証券株式会社が当社株主である平石明(以下「貸株人」という。)より借入れる株式であります。これに関連して、当社は、平成30年5月24日開催の取締役会において、野村証券株式会社を割当先とする当社普通株式829,800株の第三者割当増資(以下「本件第三者割当増資」という。)を行うことを決議しております。

また、野村証券株式会社は、平成30年6月29日から平成30年7月23日までの間、貸株人から借入れる株式の返却を目的として、東京証券取引所においてオーバーアロットメントによる売出しに係る売出株式数を上限(上限株式数)とする当社普通株式の買付け(以下「シンジケートカバー取引」という。)を行う場合があります。

野村証券株式会社は、上記シンジケートカバー取引により取得した株式について、当該株式数については、割当てに応じない予定でありますので、その場合には本件第三者割当増資における発行数の全部または一部につき申込みが行われず、その結果、失権により本件第三者割当増資における最終的な発行数が減少する、または発行そのものが全く行われない場合があります。また、シンジケートカバー取引期間内においても、野村証券株式会社の判断でシンジケートカバー取引を全く行わないか若しくは上限株式数に至らない株式数でシンジケートカバー取引を終了させる場合があります。

ご注意：この文章は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行うに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書(並びに訂正事項分)」をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

2. 今回の募集株式発行による発行済株式総数の推移

現在の発行済株式総数	15,888,750株	
公募による増加株式数	412,500株	
第三者割当増資による増加株式数	829,800株	(最大)
増加後の発行済株式総数	17,131,050株	(最大)

3. 増資資金の用途

今回の公募による募集株式発行における手取概算額 838,295 千円 (*) については、第三者割当増資の手取概算額上限 1,700,426 千円 (*) と合わせて、270,000 千円を敷金及び保証金を含む設備資金、2,268,721 千円を運転資金として、以下のとおり充当予定であります。

①設備資金

「森塾」の新教室開校に係る資金として 270,000 千円（平成 31 年 9 月期に 90,000 千円、平成 32 年 9 月期に 180,000 千円）を充当予定であります。

②運転資金

「森塾」のブランド認知の促進を目的とした広告宣伝費として 528,721 千円（平成 30 年 9 月期に 150,000 千円、平成 31 年 9 月期に 378,721 千円）、「森塾」を運営するスタッフの採用費及び人件費として 764,000 千円（平成 30 年 9 月期に 88,000 千円、平成 31 年 9 月期に 260,000 千円、平成 32 年 9 月期に 416,000 千円）、個別指導用テキスト「フォレスト」制作に係る外注費として 800,000 千円（平成 31 年 9 月期に 300,000 千円、平成 32 年 9 月期に 500,000 千円）、教育関連コンテンツの開発に係る研究開発費として 176,000 千円（平成 30 年 9 月期に 19,000 千円、平成 31 年 9 月期に 78,000 千円、平成 32 年 9 月期に 79,000 千円）を充当予定であります。

なお、具体的な充当時期までは、安全性の高い金融商品等で運用する方針であります。

*有価証券届出書提出時における想定発行価格 2,180 円を基礎として算出した見込額であります。

4. 株主への利益配分

(1) 利益配分の基本方針

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題と認識しております。したがって、当社は、将来における安定的な企業成長と、経営環境の変化に対応するために必要な内部留保資金を確保しつつ、業績への連動性の高い利益配分を継続的に行うことを基本方針としております。

(2) 内部留保資金の用途

内部留保資金につきましては、今後の事業展開と経営環境の変化に対応するための資金として有効に活用したいと考えております。

(3) 今後の株主に対する利益配分の具体的増加策

配当性向 30%程度を一つの目安とした上で安定的な配当を実施することにより、着実な株主還元を実現してまいります。

ご注意：この文章は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行うに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書（並びに訂正事項分）」をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

(4) 過去の3決算期間の配当状況

	平成 27 年 9 月期	平成 28 年 9 月期	平成 29 年 9 月期
1 株当たり当期純利益金額	1,740.55 円	14.65 円	53.81 円
1 株当たり配当額 (1 株当たり中間配当額)	350 円 (-円)	440 円 (-円)	2,420 円 (-円)
実績配当性向	20.11%	20.02%	29.98%
自己資本当期純利益率	12.30%	13.79%	39.03%
純資産配当率	2.47%	2.76%	11.70%

- (注) 1. 1株当たり当期純利益金額は、期中平均発行済株式数に基づき算出しております。
2. 自己資本当期純利益率は、当期純利益を自己資本（期首・期末の平均）で除した数値であり、純資産配当率は配当総額を純資産（期首・期末の平均）で除した数値であります。
3. 当社は、平成 30 年 3 月 1 日付で普通株式 1 株につき 150 株の株式分割を行っておりますが、平成 28 年 9 月期の期首に当該分割が行われたものと仮定し、1 株当たり当期純利益金額を算定しております。
4. 上記 3. の株式分割に関連して、東京証券取引所自主規制法人（現 日本取引所自主規制法人）の引受担当者宛通知「『新規上場申請のための有価証券報告書（I の部）』の作成上の留意点について」（平成 24 年 8 月 21 日付東証上審第 133 号）に基づき、平成 27 年 9 月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定した場合の 1 株当たり指標の推移を参考までに掲げると、以下のとおりとなります。なお、平成 27 年 9 月期の数値（1 株当たり配当額については全ての数値）については、有限責任 あずさ監査法人の監査を受けておりません。

	平成 27 年 9 月期	平成 28 年 9 月期	平成 29 年 9 月期
1 株当たり当期純利益金額	11.60 円	14.65 円	53.81 円
1 株当たり配当額 (1 株当たり中間配当額)	2.33 円 (-円)	2.93 円 (-円)	16.13 円 (-円)

5. ロックアップについて

上記 1. の公募による募集株式発行並びに上記 2. の引受人の買取引受による株式売出しに関連して、売出人及び貸株人である平石明並びに当社株主である有限会社フラットストーン、常石博之及び株式会社三菱UFJ銀行は、野村証券株式会社に対し、元引受契約締結日から上場（売買開始）日（当日を含む）後 90 日目の平成 30 年 9 月 26 日までの期間中、野村証券株式会社の事前の書面による同意なしには、当社普通株式の売却等（ただし、上記 2. の引受人の買取引受による株式売出し及び上記 3. のオーバーアロットメントによる株式売出しのために当社普通株式を貸し渡すこと等を除く。）を行わない旨合意しております。

また、当社は野村証券株式会社に対し、元引受契約締結日から上場（売買開始）日（当日を含む）後 180 日目の平成 30 年 12 月 25 日までの期間中、野村証券株式会社の事前の書面による同意なしには、当社普通株式の発行、当社普通株式に転換若しくは交換される有価証券の発行または当社普通株式を取得若しくは受領する権利を付与された有価証券の発行等（ただし、上記 1. の公募による募集株式発行、株式分割、ストックオプション

ご注意：この文章は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行うに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書（並びに訂正事項分）」をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

ョンとしての新株予約権の発行及び上記3. のオーバーアロットメントによる株式売出しに関連し、平成30年5月24日開催の当社取締役会において決議された野村証券株式会社を割当先とする第三者割当増資等を除く。)を行わない旨合意しております。

なお、上記のいずれの場合であっても、野村証券株式会社はその裁量で当該合意の内容を一部若しくは全部につき解除できる権限を有しております。

6. 配分の基本方針

販売に当たりましては、株式会社東京証券取引所の有価証券上場規程に定める株主数基準の充足、上場後の株式の流通性の確保等を勘案し、需要の申告を行わなかった投資家にも販売が行われることがあります。

引受人は、公平かつ公正な販売に努めることとし、自社で定める配分に関する基本方針及び社内規程等に従い、販売を行う方針であります。配分に関する基本方針については引受人の店頭における表示またはホームページにおける表示等をご確認下さい。

(注) 「4. 株主への利益配分」における今後の利益配分に係る部分は、一定の配当などを約束するものでなく、予想に基づくものであります。

以 上

ご注意：この文章は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行うに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書（並びに訂正事項分）」をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。